

滝上町外国語指導助手

Jordy's コーナー

この文章、実はハワイで書いてます。わたしの夏休みはとっても忙しかった。まずは北海道のイングリッシュキャンプに参加しました。このキャンプに参加した生徒は4日間、英語しか話せません。とっても楽しかったけど、とっても大変だった。

それから、わたし、初めて日本の結婚式に参加しました！花嫁がとっても綺麗でした。日本の結婚式に参加できて、わたし

はとてもラッキーね。そして、今はハワイにいます。成田空港から出発してマウイ島にきました。マウイ島はハワイで2番目に大きい島で、アラスカへ旅するクジラの観察やウィンドサーフィンをする人にはとても人気の島で世界中からサーファーが集まります。

マウイ島はとても美しい場所！海は信じられないほど青くて澄んでいます。天気はたいてい良いけど風がいつも強くて、外に出ると風が気持ちいい。ここには世界最大の火口丘があるハレアカラ火山があります。わたしはこの山に登って朝日を見るつもり！マウイの人々はとても素敵な人たちです。とても親切、いつも微笑んでいてリラックスしているように見えます。

マウイでの最初の宿泊先はパーイアという町でした。大きさは滝上と同じくらい、街並みがカラフルで面白いの。たくさん若い人が住んでいます。パーイアではすごく美味しいフラットブレッドのピザとマヒマヒ魚のタコスを食べました。多くの時間をビーチで過ごして、とてもリラックスできました。

そして次の日、カパルアでわたしの家族と再会して、今もカパルアに滞在しています。わたしたち家族は旅行中にたくさん計画を立てています。わたしは島中をドライブするわ！特に夜のドライブが楽しみ。家族でハワイ伝統の宴、ルアウにも行くつもりよ。お父さんはゴルフをするみたい。お母さんと妹は写真をたくさん撮って、ハワイアンフードに挑戦するんですって。

ハワイ、特にマウイ島はゆったり寛げる素晴らしい場所です。もし何の計画も立てずに訪れたとしてもビーチに行けば、マウイの人びとのようにリラックスできて、充分良い時間が過ごせます。

ハワイでは最高の休暇を過ごせると思います。



おぐり アイ 小栗EYE

郷土館管理人小栗さんに収蔵品の紹介や、それらにまつわるエピソードなどを紹介していただきます！

造林山での伐木（ばつぼく）作業の主な道具は鋸（のこぎり）です。鋸には縦挽き鋸（たてびきのこぎり）と横挽き鋸（よこびきのこぎり）があり、縦挽き鋸は丸太を木の纖維にそって切り柱や井谷する鋸です。大鋸とか木挽鋸とも言います。伐木には横挽き鋸を使います。バラ目鋸や窓鋸です。窓鋸はバラ目鋸を改良し歯の六、八本ごとに大きくぼみ（窓）をつけて、鋸屑（のこくず）をかき出すようにしたもので、この窓から窓鋸と名付けられています。歯の間に鋸屑がつまる目詰まりを防ぐことができ、木を切る能率が高まりました。

窓鋸は外国製の鋸からヒントを得て工夫されたといわれています。北海道内に普及したのは戦後のことです。窓の数は次第に増えて歯の数も四本間隔、三本間隔になりました。鋸は造材での伐木だけではなく、薪切りなど日常的に使われました。鋸には会津型と土佐型があり、会津型は背がまっすぐで全体的に直線的で古いタイプと言えます。土佐型は背が丸味をおびて会津型の改良型といえます。鋸は道内では旭川や深川で製造されましたが、使われた鋸の多くは秋田、山形、会津、土佐で造られたものでした。

郷土館には「会津住 中屋〇〇」の銘のある鋸が数丁あります。そして忘れてならないのは「滝上村」産の鋸です。

「三羽鶴印丹羽守」（さんばがらすじるしたんばのかみ）があります。是非見て下さい。

山子（伐木する人）は青木（針葉樹）用と雑木（広葉樹）用にそれぞれ目立てた二丁の鋸を伐る木に合わせて使い分けました。鋸の切れ味が鈍るとすぐ雪の中でも刃を研ぎ直しました。山子の背負子（しょいこ）にはそのためのヤスリや目立て道具が入っていました。そして鋸についたヤニを拭きとるための石油壺も入っていました。



郷土館に保管されている鋸の写真
(上の鋸：バラ目鋸、下の鋸：窓鋸)